

9月29日(日) 午前

A会場

ジオパーク

座長：鈴木雄介・大野希一

- 9:45-10:00
A1-01 ジオパーク活動と火山学 ※中田節也
10:00-10:15
A1-02 ジオパークにおける大地の遺産の保全と活用 ※大野希一
10:15-10:30
A1-03 洞爺湖有珠山世界ジオパークは次期噴火に備える防災ツール ※三松三朗・田鍋敏也・岡田 弘
10:30-10:45
A1-04 洞爺湖有珠山世界ジオパークでの実践活動 ※田鍋敏也・三松三朗・岡田 弘
10:45-11:00
A1-05 南三陸海岸ジオパーク構想と被災遺構—ビジターズ産業に基づく地域の復興を目指して— ※谷口宏充 宮原育子・田代祐徳・田中倫久・菅原大助 南三陸海岸ジオパーク準備委員会
11:00-11:15
A1-06 伊豆半島全体を素材とした火山を楽しむ学ぶ取り組みの展開 ※鈴木雄介・上西智紀

11:15-11:30 休憩

ジオパーク

座長：井村隆介・久利美和

- 11:30-11:45
A1-07 三宅島火山でのジオに関する取り組み ※青谷知己・宮下 亮・中村敏郎・野田博之 穴原奈都・篠木秀紀・内藤明紀
11:45-12:00
A1-08 霧島ジオパークの活動拠点としてのえびのエミュージウムセンター ※井村隆介・森川政人
12:00-12:15
A1-09 トンボ玉ガラスでバリバリ溶岩実験！ —ジオパーク用ハイアロクラスタイト教材— ※林信太郎
12:15-12:30
A1-10 ジオパークのテーマと独自性について ※福島大輔
12:30-12:45
A1-11 災害記録の重要性と災害ジオツアー ※佐藤 公

B会場

噴出物の運搬と堆積

座長：萬年一剛・鹿野和彦

- 9:45-10:00
B1-01 火山活動に伴う電波発生現象の検証 ※高野 忠 三枝健二・前田 崇・服部克巳
10:00-10:15
B1-02 気象レーダによる定量的降灰量推定(1) —レーダで検出可能な最小反射強度— ※真木雅之
10:15-10:30
B1-03 定常的な降下・堆積プロセスにおける初期条件と堆積構造の定量的関係 霧乗初期サイズ分布の推定 ※◎入山 宙・寅丸敦志・山本哲生
10:30-10:45
B1-04 火砕物噴出物の堆積量減衰曲線 ~重力流モデル vs 移流拡散モデル ※萬年一剛
10:45-11:00
B1-05 爆発的噴火によって発生する海底火砕密度流と爆発的噴火に伴う斜面崩壊によって発生する重力流：西南日本、温泉津地域に分布する中新世久利層の例 ※鹿野和彦
11:00-11:15
B1-06 雲仙火山眉山周辺の縄文期噴火に伴う風倒木 ※長井大輔

11:15-11:30 休憩

噴出物の運搬と堆積

座長：宮縁育夫・前野 深

- 11:30-11:45
B1-07 有珠火山善光寺岩屑なだれの堆積構造と発生要因 ※宮縁育夫・小林哲夫
11:45-12:00
B1-08 鳥海火山北麓のラハール堆積物 ※◎南 裕介 大場 司・林信太郎・片岡香子
12:00-12:15
B1-09 Volcaniclastic turbidites from the Roseau Tuff Eruption, Dominica: stratigraphy and grain characteristics of IODP Site U1398 cores ※前野 深・石塚 治・片岡香子 Le Friant Anne・Boudon Georges・Villemant Benoit Shipboard scientists of IODP Expedition 340
12:15-12:30
B1-10 Late Quaternary tephrostratigraphy of Baegdusan and Ulleung volcanoes using marine sediments in the Japan Sea/East Sea ※任 忠完・豊田和弘

12:30-12:45

B1-11 溶岩流シミュレーションを目的とした1986伊豆大島
噴火の地形解析 ※◎部谷直大・佐伯和人

9月29日(日) 午後

A 会場

福島火山

座長：山元孝広・田島靖久

15:00-15:15

A1-12 福島県猪苗代湖の湖底堆積物コア(INW2012)に扶
まるラハール堆積物の識別 ※長橋良隆
廣瀬孝太郎・中澤なおみ・神野成美・木村勝彦

15:15-15:30

A1-13 小磐梯山の写真 ※千葉茂樹

15:30-15:45

A1-14 1888年磐梯山水蒸気爆発(6)熱力学モデルの検討
※浜口博之・中道治久・植木貞人

15:45-16:00

A1-15 福島第一原発サイトにおける過去30万年間の降灰頻
度 ※山元孝広

16:00-16:15 休憩

噴火史

座長：山元孝広・田島靖久

16:15-16:30

A1-16 北方四島、択捉島中央部での萌消カルデラ(L'vinaya
Past' caldera)形成噴火のテフラの発見 ※中川光弘
古川竜太・松本亜希子

16:30-16:45

A1-17 十和田火山平安噴火の炭素14ウイグルマッチング年代
※宮本 毅・広井良美・菅野均志
長瀬敏郎・谷口宏充

16:45-17:00

A1-18 トカラ列島・大隅諸島の噴気・噴煙史と噴火史
—古地図、絵画資料と歴史資料から— ※及川輝樹

17:00-17:15

A1-19 霧島火山における異なる長期活動による火山体の形成
※田島靖久

B 会場

マグマ組織

座長：寅丸敦志・大場 司

15:00-15:15

B1-12 マグマの結晶化モデルにおける問題点について
※寅丸敦志

15:15-15:30

B1-13 伊豆大島・安永噴火の推移にともなう輝石晶出過程
※◎星野雄多

15:30-15:45

B1-14 浅間火山天仁噴火の降下火砕堆積物の石基組織
※◎本郷結子・安井真也・高橋正樹・中村美千彦

15:45-16:00

B1-15 噴火様式を記録するナノライト：新燃岳2011年噴火
の例 ※◎無盡真弓・中村美千彦

16:00-16:15 休憩

マグマ組織

座長：寅丸敦志・大場 司

16:15-16:30

B1-16 マグマ混合により生成する鉱物組織—鳥海山の例
※大場 司・林信太郎・及川 玄・伴 雅雄

16:30-16:45

B1-17 マグマ破碎帯のガス浸透率と強度 ※奥村 聡
佐々木理

16:45-17:00

B1-18 雲仙・平成新山スパインの非対称変形構造
※三輪学央・奥村 聡・松島 健・清水 洋

17:00-17:15

B1-19 富士火山青木ヶ原溶岩の鳴沢「スパイラルクル」はス
パイラルクルか？ ※高橋正樹・磯貝裕介・安井真也

9月30日(月) 午前

A 会場

地震・地殻変動

座長：高橋浩晃・高木朗充

B 会場

年代測定・火山岩の分析

座長：後藤章夫・山崎誠子

9:10-9:25
 A2-01 火道内マグマ後退モデルによるブルカノ式噴火に伴う山体変形 ※◎蓑和貴史・西村太志

9:25-9:40
 A2-02 インドネシア・ロコン火山における爆発地震の発震機構の解析 ※◎山田大志・青山 裕・西村太志
 八木原寛・中道治久・井口正人・及川 純
 Hendrasto Muhamad・Suparman Yasa

9:40-9:55
 A2-03 カムチャツカ・クルチェフスコイ火山のストロンボリ式噴火活動期に傾斜計で観測された超長周期微動 ※高橋浩晃・青山 裕・中川光弘・松島 健
 宮町宏樹・ゴルディエフ エフゲニー
 ムラビヨフ ヤロスラフ・セロバトニコフ セルゲイ

9:55-10:10
 A2-04 2種類の噴火を周期的に起こす間欠泉: El Cobreloa ※並木敦子・Munoz Carolina
 Hurwitz Shaul・Manga Michael

10:10-10:25
 A2-05 TerraSAR-X/DInSARによって検出された霧島山新燃岳火口内溶岩の体積増加 ※宮城洋介・小澤 拓
 小園誠史・島田政信

10:25-10:40
 A2-06 気象庁非静力学モデルを用いた対流圏補正によるSAR干渉解析 霧島山等への適用 ※高木朗充
 新堀敏基・安藤 忍・福井敬一
 橋本明弘・小司慎教

10:40-10:55 休憩

地震・地殻変動
 座長: 鬼澤真也・小澤 拓

10:55-11:10
 A2-07 地殻変動から見る伊豆大島火山のマグマ蓄積過程 ※鬼澤真也・高木朗充・小久保一哉・山本哲也
 安藤 忍・新堀敏基・小林昭夫・木村一洋

11:10-11:25
 A2-08 伊豆大島における火山構造的な地震活動の定量的モデル化 ※森田裕一

11:25-11:40
 A2-09 GPS・重力キャンペーン観測による小笠原硫黄島の2011-2012年大規模隆起 ※小澤 拓・上田秀樹

11:40-11:55
 A2-10 精密水準測量で検出した上下変動(2005-2013)に基づく2004年浅間山噴火後の圧力源の推移 ※木股文昭
 村瀬雅之・小野幸治

11:55-12:10
 A2-11 2000年三宅島噴火初期のマグマの移動の推定(2) - 相似波形を用いた震源決定 ※◎松山諒太郎
 森田裕一・酒井慎一

9:10-9:25
 B2-01 九重火山中央部の火砕流堆積物の放射性炭素年代 ※奥野 充・長岡信治・國分陽子
 中村俊夫・小林哲夫

9:25-9:40
 B2-02 大室ダシの流紋岩中の石英を用いたESR年代測定 ※◎浅越光矢・豊田 新・谷健一郎

9:40-9:55
 B2-03 蔵王火山・最新期噴出物のアルゴン同位体比と希ガス存在度異常 ※佐藤佳子・武部義宜・熊谷英憲
 伴 雅雄・岩田尚能・鈴木勝彦

9:55-10:10
 B2-04 産業技術総合研究所における感度法K-Ar年代測定システムの現状 ※山崎誠子・松本哲一

10:10-10:25
 B2-05 FT-IR顕微反射分光法による微小な火山ガラス試料の揮発性成分定量分析 ※安田 敦

10:25-10:40
 B2-06 雲仙普賢岳平成溶岩の粘性係数測定 ※後藤章夫
 平賀岳彦・石橋秀巳

10:40-10:55 休憩

沈み込み帯(1)
 座長: 田村芳彦・佐野貴司

10:55-11:10
 B2-07 マリアナ弧調査NT13-12の概要とミッション・イミッシブル ※田村芳彦・石塚 治・宮崎 隆
 平原由香・前野 深・佐藤智紀
 Nichols Alexander・Martinez Fernando

11:10-11:25
 B2-08 四国海盆玄武岩の化学的特徴の地域性 ※原口 悟
 石井輝秋・町田嗣樹

11:25-11:40
 B2-09 東北日本弧下の堆積物起源流体の深部への沈み込み: 10Be-B-Baからの制約 ※佐野貴司・長谷中利昭
 島岡晶子・永井尚生・山崎芳弘・福岡孝昭

11:40-11:55
 B2-10 東北日本中央部前弧(蔵王から船形山)の3次元地殻比抵抗構造解析 ※小川康雄・本蔵義守・長谷英彰
 B. Songkhun・三品正明・S.B. Tank

11:55-12:10
 B2-11 蔵王山南部地域の比抵抗構造から推定される間隙流体と浸透率分布 ※長谷英彰・坂中伸也・小山崇夫
 上嶋 誠・渡邊篤志・宮川幸治
 芹澤正人・小山 茂・山谷佑介

12:10-12:25

- A2-12 霧島火山周辺の上部地殻内3次元地震波速度構造(2)
※八木原寛・米良諒麻・平野舟一郎
後藤和彦・中尾 茂・宮町宏樹

9月30日(月) 午後

A 会場

東日本の火山活動
青山 裕・山本 希

14:00-14:15

- A2-13 有珠山は次の噴火の準備段階に入っているか?
※村上 亮

14:15-14:30

- A2-14 樽前山の2013年群発地震活動 ※青山 裕
橋本武志・森 濟・大島弘光
村上 亮・碓井勇二・宮本聖史

14:30-14:45

- A2-15 最近の樽前山近傍の地震活動に同期した傾斜及び伸縮変化 ※◎小四郎丸拓馬・村上 亮

14:45-15:00

- A2-16 八甲田山の最近の地震活動・地殻変動について
※小林 宰・篠原英一郎・宮下 誠
菅野智之・藤原善明・小野幸治

15:00-15:15

- A2-17 八甲田山における長周期地震：活動様式と発生機構
※山本 希

15:15-15:30

- A2-18 GPS観測による蔵王山周辺の地殻変動 ※三浦 哲
太田雄策・出町知嗣・立花憲司
近江克也・篠原英一郎

15:30-15:45

- A2-19 富士山の深部低周波地震：1995～2013
※藤田英輔・カンナタ アンドレア
上田英樹・小園誠史

B 会場

マグマ供給系
座長：石塚 治・三浦大助

14:00-14:15

- B2-12 長大なダイクシステムの研究による水平方向長距離地殻内マグマ移動プロセスの検討 ※石塚 治
下司信夫・望月伸竜・Rex N. Taylor

14:15-14:30

- B2-13 中奥火砕岩脈群：カルデラ火山における火道の産状例 ※佐藤隆春

14:30-14:45

- B2-14 阿武火山群の溶岩台地を形成する安山岩～流紋岩の岩石学 ※永尾隆志・伊藤靖子・堀川義之

14:45-15:00

- B2-15 沼沢火山におけるマグマ供給系の長期的進化
※増淵佳子・白井智人・石崎泰男

15:00-15:15

- B2-16 富士火山，マグマ供給系と新期噴出物全岩化学組成の特徴 ※金子隆之・安田 敦・嶋野岳人
吉本充宏・藤井敏嗣

15:15-15:30

- B2-17 マグマ供給系モデルと階段モデルの体系化にむけた試み ※三浦大助・中川光弘

臨時総会 (A 会場) 16:00-16:30

A 会場

日本火山学会 研究奨励賞・記念講演
高田 亮

16:30-17:00

- S01 火道流モデルの構築による噴火機構に関する研究
※小園誠史

A 会場

噴煙・熱水、桜島火山
座長：吉本充宏・篠原宏志

- 9:10-9:25
A3-01 草津白根火山山腹域のテフラ層序(序報)
※吉本充宏・中村賢太郎・濁川 暁
寺田暁彦・上木賢太・石崎泰男
- 9:25-9:40
A3-02 草津白根火山火口湖「湯釜」湖水中のフッ素・塩素濃
度変化 ※◎佐藤 泉・野上健治
- 9:40-9:55
A3-03 熱水変質が母岩の表面伝導度に与える影響の定量的
検討 低温熱水系と(やや)高温熱水系との比較観
究 ※小森省吾・鍵山恒臣・高倉伸一
大沢信二・三村 衛・茂木 透
- 9:55-10:10
A3-04 阿蘇火山中岳湯だまりの消長と噴煙組成の変化
※篠原宏志・横尾亮彦・吉川 慎・宮縁育夫
- 10:10-10:25
A3-05 諏訪之瀬島火山における二酸化硫黄放出率の連続観
測 ※◎森田雅明・森 俊哉・井口正人・西村太志
- 10:25-10:40
A3-06 2006年以降の桜島火山周辺の地盤変動への茂木
モデル適用の妥当性の検討 ※◎堀田耕平
井口正人・大倉敬宏・山本圭吾

10:40-10:55 休憩

桜島火山
森 俊哉・宮城磯治

- 10:55-11:10
A3-07 桜島火山での二酸化硫黄放出率の自動測定
※森 俊哉・森田雅明・井口正人
山本圭吾・及川 純
- 11:10-11:25
A3-08 桜島火山ブルカノ式噴火における前兆的な火山ガス
放出変動 ※風早竜之介・森 俊哉・井口正人
- 11:25-11:40
A3-09 桜島南岳爆発の火山灰噴出率について ※井口正人
- 11:40-11:55
A3-10 火山灰の色調からみた桜島昭和火口直下のマグマの
滞留時間の変遷 ※宮城磯治
- 11:55-12:10
A3-11 桜島火山における ACROSS 震源位置で励起された弾
性波の伝播シミュレーション ※竹中博士
藤岡 慧・中村武史・岡元太郎・宮町宏樹

B 会場

沈み込み帯(2)
海野 進・栗谷 豪

- 9:10-9:25
B3-01 一ノ目瀉マールにおける下部地殻捕獲岩の熱履歴
※◎柳田泰宏・中村美千彦・吉田武義
- 9:25-9:40
B3-02 三ノ目瀉火山のマグマ生成条件 ※栗谷 豪
吉田武義・木村純一・高橋俊郎・平原由香
宮崎 隆・仙田量子・常 青・伊藤嘉紀
- 9:40-9:55
B3-03 西之島火山の地球科学的特徴 ※伊藤弘志
鈴木 晃・小野寺健英・緒方克司
- 9:55-10:10
B3-04 無人岩マグマの生成条件—メルト包有物が明らかに
した初生無人岩マグマの多様性 ※◎北村啓太郎
海野 進・金山恭子・石塚 治
坂本直哉・塚本尚義
- 10:10-10:25
B3-05 “一時的島弧”のマグマ進化過程 ※草野有紀
伊計 杏・足立佳子・新城竜一
海野 進・宮下純夫
- 10:25-10:40
B3-06 持続的な沈み込み帯 v.s. 一時的な沈み込み帯
※海野 進・金山恭子・北村啓太郎・草野有紀
永石一弥・石川剛志・石塚 治

10:40-10:55 休憩

防災・教育
上田英樹・宝田晋治

- 10:55-11:10
B3-07 地域の特色を生かした小学校理科地球科学分野の学
習指導計画開発と実践 ※吉川美由紀・児玉史朗
- 11:10-11:25
B3-08 防災科学技術研究所における WOVODat データベ
ースのミラーサイト設置について ※上田英樹
藤田英輔・棚田俊收
ニューホール クリス・ジョリージル
- 11:25-11:40
B3-09 地震・火山防災のための G-EVER 活動と次世代型火
山災害予測システム ※宝田晋治
G-EVER 推進チーム
- 11:40-11:55
B3-10 火山ハザードマップ集第2版—新たな火山ハザード
マップと防災対応に向けて ※中村洋一
棚田俊收・堀田弥生・荒牧重雄

八木原寛・山岡耕春・國友孝洋・渡辺俊樹
井口正人・為栗 健・三ヶ田均・清水 洋

12:10-12:25

A3-12 桜島火山の1914年噴火によって生じた地殻変動の永年変化に関する一解釈(第2報)及び桜島火山における寄生火口の噴火(第2報) ※横山 泉

ポスターセッション

ポスター掲示：9月29日9:00～30日17:00

コアタイム：9月29日 奇数番号13:30～14:10 偶数番号14:10～14:50

- | | |
|--|--|
| <p>P01 洞爺湖有珠山世界ジオパークのガイドブック
※宇井忠英・岡田 弘・渡邊晶子・広田達郎
加賀谷仁左衛門・安藤 忍・福田茂夫
横山 光・木原敏秋・川南恵美子・田中正文
石畑隆史・三松三朗・角田隆志・廣瀬 亘</p> <p>P02 フィールド授業のジオツアーへの活用 ※佐藤 公</p> <p>P03 壮瞥町子ども郷土史講座：30年の活動と世界ジオパーク
※田鍋敏也・三松三朗
佐藤 恣・岡田 弘</p> <p>P04 中南米地域火山防災能力強化 JICA 研修における洞爺湖有珠山世界ジオパークの活用 ※菱村里佳
伊藤 晋・岡田 弘・宇井忠英</p> <p>P05 南三陸海岸ジオパーク構想：理科教育・社会科見学の場としての活用の提案 ※久利美和・谷口宏充
宮原育子・永広昌之・安倍 祥・田中倫久
橋本智雄・田代祐徳・大沼久美</p> <p>P06 黒部・立山ジオパークにおける火山(大地)の営み
※増渕佳子</p> <p>P07 インドネシアにおける火山噴出物の放出に伴う災害の軽減に関する総合的研究戦略 地球規模課題対応国際科学技術協力 ※井口正人・中道治久
藤田正治・吉谷純一・中田節也・宮本邦明</p> <p>P08 片面研磨試料の仕上り研磨方法の改良について
※宮城磯治</p> <p>P09 ハワイブルームのマグマ生成解明に向けた高圧融解実験 ※高 珊・今井崇暢・高橋栄一</p> <p>P10 斜長石斑晶-メルト平衡から見た島弧玄武岩マグマの含水量 ※◎潮田雅司・浜田盛久
高橋栄一・鈴木敏弘</p> <p>P11 島弧ソレライトマグマの結晶分化作用 実験岩石学的研究に基づく再検討 ※浜田盛久</p> <p>P12 無人岩に先行する初期島弧火成活動の地質学的検討 ※草野有紀・足立佳子・海野 進・宮下純夫</p> <p>P13 無人岩(ボニナイト) マグマの多様性-沈み込み帯形成過程の違い ※金山恭子・北村啓太郎
海野 進・永石一弥・石川剛志・石塚 治</p> <p>P14 北部フォッサマグナにおける新生代火山岩のマグマ組成 ※岡村 聡・稲葉 充・吉田尊智
足立佳子・池田保夫</p> | <p>P15 山口県大津地域に分布する中新世玄武岩類の岩石学的特徴 ※◎東山陽次・長谷中利昭・永尾隆志</p> <p>P16 鳥海火山の歴史時代溶岩におけるマグマ混合-噴火の時間スケール：苦鉄質斑晶鉱物の滞留時間による推定 ※佐藤昂徳・伴 雅雄・大場 司・林信太郎</p> <p>P17 宝永噴火噴出物を用いた富士火山深部マグマ溜りの条件推定 ※◎浅野健太・高橋栄一
浜田盛久・鈴木敏弘</p> <p>P18 新潟焼山火山第4～5期活動噴出物についての岩石学的研究 ※◎小林智子・石崎泰男</p> <p>P19 岩石学的に見た男体今市テフラ噴火のマグマ供給系 ※石崎泰男・森田考美</p> <p>P20 立山火山第2期噴出物(“称名滝”火砕流堆積物)の地質 ※◎濁川 暁・野上景子・石崎泰男</p> <p>P21 岩石学的にみた立山火山第2期噴火の再検討とマグマ供給系(3) ※◎野上景子・濁川 暁・石崎泰男</p> <p>P22 草津白根火山殺生溶岩中の斜長石斑晶の粒径分布と累帯構造から推定されたマグマだまり内不均質 ※◎押尾和喜・上木賢太・乾 睦子・野上健治</p> <p>P23 草津白根山の安山岩マグマの地球化学的進化 ※上木賢太・宇野正起</p> <p>P24 阿蘇-4火砕流噴火の直前に流出した高遊原溶岩についての岩石学的研究 ※黒川 聖・長谷中利昭
山崎秀人・森 康</p> <p>P25 桜島大正噴出物中の硫化物の酸化反応：組織の多様性と噴火様式との関係について ※◎松本恵子
中村美千彦</p> <p>P26 新燃岳2011年噴火における火道流進化-安山岩質マグマの周期的な準プリニー式噴火と噴火様式推移のメカニズム- ※鈴木由希・前野 深
長井雅史・中田節也・市原美恵</p> <p>P27 安山岩質火山における火道内マグマ対流モデルの検証 ※風早竜之介・風早康平・大和田道子
篠原宏志・宮城磯治</p> <p>P28 南極やまと山脈地域の水中にサウスサンドイッチ諸島(Thule島, Zavodovski島)起源の火山灰を発見 ※◎大久保悠花・福岡孝昭・西尾文彦</p> <p>P29 北海道クッタラ(登別)火山の噴火史 ※後藤芳彦</p> |
|--|--|

- P30 佐々木央岳・鳥口能誠・畠山 信
有珠山吐火火山観測井コア試料の岩相と層序
※長井雅史・大島弘光・中川光弘
吉本充宏・松本亜希子・山本英二
棚田俊收・檀原 徹・岩野英樹
- P31 仙岩火山地域南西部における大規模珪長質火砕堆積物の分布の再検討 ※◎小嶋智子・山崎晴雄
- P32 栗駒地熱地域における最近 100 万年間の火砕流発生頻度 ※◎葛巻貴大・藤縄明彦・大場 司
- P33 史料から見た磐梯山噴火の再検討 (その 3) - 裏磐梯復元と長坂集落「災害の実像」 - ※竹本弘幸
- P34 那須茶臼岳火山、1408-1410 年噴火における噴出物と噴火推移の再検討 ※長谷川健・伴 雅雄
- P35 富士火山西麓で見出した約 1 万年前の流紋岩質火山灰 ※石塚吉浩
- P36 九重火山中西部の発達史と K-Ar 年代 ※星住英夫
松本哲一・川辺禎久・廣田明成
- P37 鬼界アカホヤ火山灰の形成・堆積機構 ※山口千尋
鈴木桂子
- P38 諏訪之瀬島火山 1813 年噴火末期における山体崩壊について ※嶋野岳人
- P39 マリアナ弧南サリガン海底火山 2010 年噴火地点の潜航調査結果 (序報) ※佐藤智紀・田村芳彦
Embley Robert W・Nichols Alexander RL
石塚 治・Merle Susan G・Chadwick Bill
Robert J Stern・Wiens Douglas A・Shore Patrick
- P40 マグマデータベース構築のための噴出物解析技術 ※竹内晋吾
- P41 火山微地形判読による磐梯山の噴火・土砂移動実態調査 ※岸本博志・千葉達朗・荒井健一
佐々木寿・廣谷志穂・福田光生
石田哲也・長谷川達也・細井道幸
- P42 火口埋積溶岩のドレインバック過程に対する火口形状の効果: アナログ実験結果 ※佐藤博明
佐藤鋭一・三軒一義
- P43 降灰観測におけるトラップの面積・形状についての検討 その 1 ※古川竜太・及川輝樹
- P44 数 100km にわたる火山灰長距離輸送に関するモデル開発と数値実験 ※橋本明弘・鈴木雄治郎
新堀敏基・高木朗充
- P45 移流拡散モデルによる大規模噴火を想定した降下火砕物予測の課題 ※新堀敏基・山本哲也・横田 崇
- P46 火山観測用自走式センサー「ほむら」の開発 FOMA による無線通信 ※金子克哉・伊藤公一
安部祐一・岩堀功大
- P47 iPhone を使った火山観測ロボット制御・情報公開システムの開発 ※佐伯和人
- P48 バヌアツ共和国ヤスール火山の空振現象に関する研究 ※◎佐藤佑輔・横尾亮彦
- P49 高層風が空振走時に与える影響について - 桜島昭和
- 火口爆発的噴火の場合 (その 2) - ※藤原善明
山里 平・新堀敏基・加藤幸司
坂井孝行・小窪則夫
- P50 A multi-array infrasound study of Sakurajima volcano
スワンソン エリザベス・※横尾亮彦・中道治久
井口正人・グリーン ディビッド
フィリップス ジェレミー・ラスト アリソン
- P51 有限要素法による湖水への CO₂ 流入過程と湖水爆発のモデリング ※小園誠史・大場 武・日下部実
吉田 裕・鈴木雄治郎
- P52 伊豆大島東岸からの二酸化炭素海底下貯留 ※大隅多加志
- P53 箱根大涌谷における浅部比抵抗構造と地熱活動 ※萬年一剛・原田昌武・板寺一洋
代田 寧・寺田暁彦
- P54 ACTIVE による阿蘇中岳火口における繰り返し比抵抗観測 ※宇津木充・徳本直明
鍵山恒臣・井上寛之
- P55 台湾北部、七星山・馬槽・大油坑地域における浅部比抵抗構造 熱水流動形態との関係 ※小森省吾
宇津木充・鍵山恒臣・井上寛之
陳 中華・江 協堂
- P56 東北地方北部における島弧マグマの電磁イメージング ※神田 径・小川康雄
- P57 全磁力観測から推定される草津白根山の長期的な熱活動の推移 ※高橋幸祐・藤井郁子
- P58 三宅島における航空磁気測量 ※小野智三
小山 薫・内田 徹・笹原 昇
- P59 浅間山における水準測量 (2005-2013 年) 結果から推定される 2004 年浅間山噴火後のマグマ供給システム ※小野幸治・木股文昭・村瀬雅之
- P60 伊豆大島に整備したボアホール型多成分ひずみ計の概要 ※安藤 忍・小久保一哉・鬼澤真也
山本哲也・高木朗充・新堀敏基・福井敬一
- P61 伊豆大島多成分ひずみ計による初期観測データの特性 ※山本哲也・安藤 忍・小久保一哉
小林昭夫・木村一洋
- P62 伊豆大島火山の山頂噴火に伴う地殻変動 ※鬼澤真也
- P63 蔵王山で観測された火山性微動の解析 ※吉開裕亮・篠原英一郎・小林 宰
藤原善明・小木曾仁
- P64 三宅島大野原島近傍で発生した MJ6.2 の地震と今後の定常観測について ※松島 健・福井海世
及川 純・渡邊篤志・大湊隆雄・小澤 拓
宮城洋介・河野裕希・奥田 隆
- P65 反射法探査データを用いた昭和火口の爆発地震のアレイ解析 ※中道治久・筒井智樹・井口正人
為栗 健・桜島復反射法探査グループ